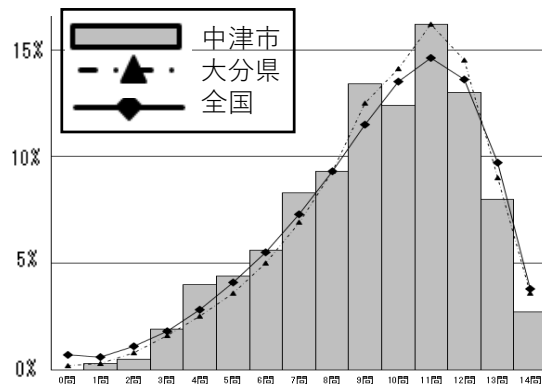


### 1 調査結果の分析 成果・課題が表れている項目を中心に

	問題番号	正答率 (%)			県との差	全国との差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体	-	67	69	67.2	-2	-0.2	-	-
成果が見られる問題	3二	75.6	75.9	70.2	-0.3	+5.4	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる
課題が見られる問題	1一	61.1	65.8	64.7	-4.7	-3.6	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる
	1三(1)ウ	68.6	72.2	72.6	-3.6	-4.0	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す(きかん)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる
	1四	76.5	79.4	79.8	-2.9	-3.3	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる
	2三	58.7	60.7	62.0	-2.0	-3.3	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる

正答数分布グラフ



#### 【正答率の傾向から】

- ◇平均正答率は全国・県平均ともに下回っている。
- ◇記述式問題は、全国平均を3P程度上回っており、県平均と同等である。
- ◇無解答率は、全ての問題で全国平均を下回っており、県と同等である。
- ◇(問題1) 情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることに課題がある。

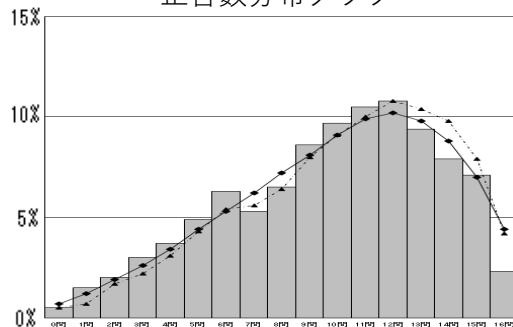
### 2 具体的な改善方策

- 『情報と情報との関係を理解するために、様々な情報の中から原因と結果などの関係を見だし、結び付けてとらえる活動』や『文章を書き始める場面で、目的に応じて、書こうとする文章の種類や特徴を意識させたり、学習を振り返る場面で確認したりする活動』を取り入れる。
- 図示などにより語句と語句との関係を表すことを通して、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりする活動を取り入れる。

### 1 調査結果の分析 成果・課題が表れている項目を中心に

	問題番号	正答率 (%)			県との差	全国との差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体	-	61	64	62.5	-3	-1.5	-	-
成果が見られる問題	1(4)	84.7	83.6	80.8	+1.1	+3.9	全部の椅子の数を求めるために、 $50 \times 40$ を計算する	一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる
	2(1)	63.5	65.0	59.8	-1.5	+3.7	テープを2本の直線で切ってできた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる
課題が見られる問題	1(3)	51.8	56.0	55.5	-4.2	-3.7	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、4脚の重さの求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる
	2(3)	20.7	23.1	24.9	-2.4	-4.2	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる
	2(4)	13.6	27.4	20.8	-13.8	-7.2	テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる
	3(2)	53.3	57.7	56.7	-4.4	-3.4	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる

正答率分布グラフ



#### 【正答率の傾向から】

- ◇平均正答率は全国・県平均ともに下回っている。
- ◇記述式問題の正答率は、県平均を7P程度下回っており・全国平均も4P程度下回っている。
- ◇無解答率は、ほぼ全ての問題で全国平均を下回っており、県と同等である。
- ◇日常生活の場面の数量関係に着目し、伴って変わる2つの数量の関係について考察することに課題がある。
- ◇図形を構成する要素などに着目して図形の性質や計量について考察することに課題がある。

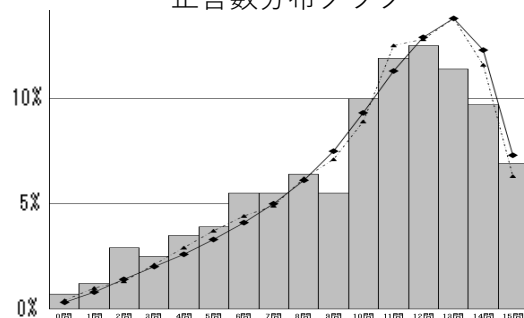
### 2 具体的な改善方策

- 『ある数量を調べようとするときに、児童自らがそれと関係のある数量を見いだして数量の間にどのような関係が成り立つのかを予想する活動』や『数や場面を変えても同じように関係が成り立つのかを考えたり、なぜそのような関係が成り立つといえるのかを表現したりする活動』を取り入れる。
- 『目的の図形をつくるために、どのような操作をすればよいか、図形の意味や性質を基に、見通しを立てる活動』や『多くの辺の長さが示されている場面において、図形の面積を求めるとき、必要な情報を自ら選び出す活動』を取り入れる。

### 1 調査結果の分析 成果・課題が表れている項目を中心に

	問題番号	正答率 (%)			県との差	全国との差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体	-	66	69	69.8	-3	-3.8	-	-
成果が見られる問題	3二	47.0	39.4	43.9	+7.6	+3.1	漢字を書く（おし量って）	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる
	課題が見られる問題	1四	77.4	81.3	82.5	-3.9	-5.1	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く
課題が見られる問題	2二	55.5	60.5	63.0	-5.0	-7.5	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる
	2三	67.6	71.9	74.2	-4.3	-6.6	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	文章の中心的部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる
	3三	54.4	59.7	61.8	-5.3	-7.4	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる
	3四	64.7	68.5	72.1	-3.8	-7.4	「『判じ絵』の解説の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる
	4三	44.2	49.0	50.0	-4.8	-5.8	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる

正答数分布グラフ



#### 【正答率の傾向から】

- ◇平均正答率は全国・県平均ともに下回っている。
- ◇記述式問題の正答率は、県平均を4P程度下回っており・全国平均も5P程度下回っている。
- ◇無解答率は、全ての問題で県・全国平均を上回っており、記述式になれば上回る数値が大きくなる傾向にある。
- ◇目的に応じて、複数の文章を読む場面において、観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えたり、文章の中心的部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することに課題がある。
- ◇調べたことをなどをレポートにまとめて書く場面において、具体と抽象など情報と情報について理解したり、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。

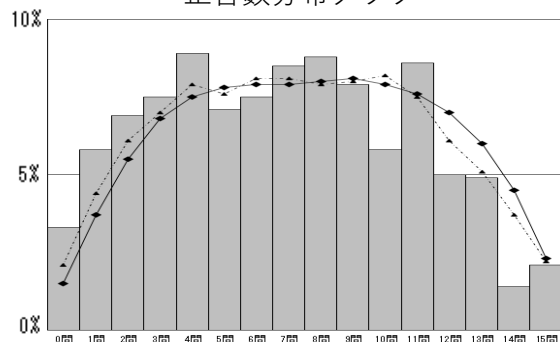
### 2 具体的な改善方策

- 観点を明確にして複数の文章を比較しながら読んだり、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付けたりすることで、物事に対する新たな視点をもてるようにする活動を取り入れる。
- レポートにまとめる際は、目的や意図に応じて集めた材料を整理し、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する活動を取り入れる

### 1 調査結果の分析 成果・課題が表れている項目を中心に

	問題番号	正答率 (%)			県との差	全国との差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体	-	46	49	51.0	-3	-5.0	-	-
課題が見られる問題	1	35.3	39.5	46.1	-4.2	-10.8	-5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解しているかどうかをみる
	2	75.0	78.5	80.5	-3.5	-5.5	$12(x/4 + y/6)$ を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる
	3	23.1	26.5	30.4	-3.4	-7.3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる
	4	37.6	45.2	42.8	-7.6	-5.2	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	反比例の意味を理解しているかどうかをみる
	7(1)	56.0	64.4	65.7	-8.4	-9.7	1961年～1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる
	8(1)	51.1	54.9	57.5	-3.8	-6.4	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く 2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる
	9(1)	21.3	25.5	32.1	-4.2	-10.8		ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる

正答数分布グラフ



#### 【正答率の傾向から】

- ◇平均正答率は全国・県平均ともに下回っている。
- ◇記述式問題の正答率は、県平均を2P程度下回っており・全国平均も4P程度下回っている。
- ◇無解答率は、ほぼ全ての問題で県・全国平均を上回っており、記述式になれば上回る数値が大きくなる傾向にある。
- ◇基本的な「知識・技能」が身につけていない傾向にある。  
(自然数、分配法則、平面の決定、反比例、四分位範囲、グラフの読み取り)
- ◇図形の性質を考察する場面において、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明したり、問題解決の過程や結果を振り返り評価・改善することに課題がある。

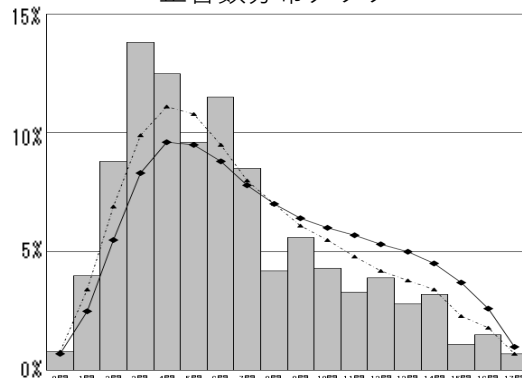
### 2 具体的な改善方策

- 領域ごとに必要な基本的な知識・技能を身につけさせる活動を十分にとり、補充学習や学び直しの時間に確実に定着させる。
- 図形の性質を考察する場面では、ある事柄が成り立つことを構想に基づいて説明したり、問題解決の過程を振り返って本質的な条件を見いだしたりする活動を取り入れる。

### 1 調査結果の分析 成果・課題が表れている項目を中心に

	問題番号	正答率 (%)			県との差	全国との差	問題の概要	出題の趣旨
		中津市	大分県	全国				
全体	-	37	41	45.6	-4	-8.6	-	-
課題が見られる問題	1(1)	61.9	71.9	79.0	-10.0	-17.1	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる
	1(2)	46.1	56.7	64.4	-10.6	-18.3	(2)道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる
	7(1)	48.6	57.4	59.8	-8.8	-11.2	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる
	9(1) ①	25.8	32.1	40.4	-6.3	-14.6	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる
	9(2)	16.0	22.3	29.0	-6.3	-13.0	メールの英文を依頼する表現に書き換える	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる

正答数分布グラフ



#### 【正答率の傾向から】

- ◇平均正答率は全国・県平均ともに大きく下回っている。
- ◇無解答率は、ほぼ全ての問題で県・全国平均を上回っている。
- ◇基本的な「知識・技能」が身につけていない傾向にある。(聞き取る、読み取る、英作文など)
- ◇「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の各領域で、県平均を4P程度下回っており・全国平均も8P程度下回っている。
- ◇情報を正確に聞き取ることに課題がある。
- ◇情報を正確に読み取ったり、文と文との関係を正確に読み取り短い文章の概要を捉えたりすることに課題がある。
- ◇短い文章の要点を捉えて、それに対する自分の考えと理由を書いたり、文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くことに課題がある。

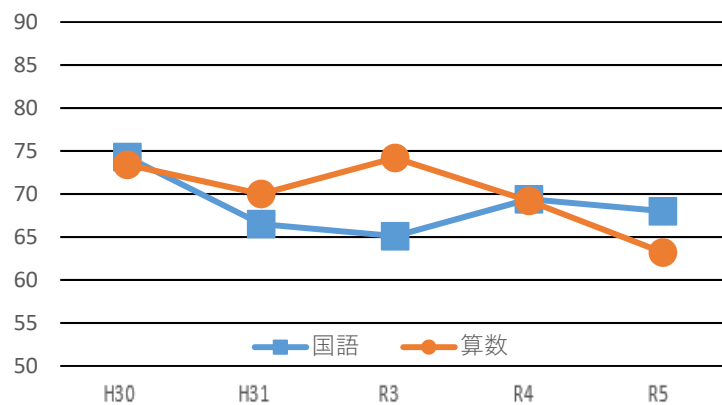
### 2 具体的な改善方策

- 『自然な速さで話す音声聞いて、語と語の連結による音声変化や強勢による英語特有のリズム、イントネーションに慣れる活動』や『意味のまとまりを意識しながら区切って聞いたり音読したりする活動』を取り入れる。
- 『文章全体を読んだ上で、時系列に情報を整理したり、書き手が伝えたいことの大まかな内容を把握したりする活動』や『短い文章を読む際に、それぞれの情報の関係を示す接続詞に注目させながら文章の流れを理解したり、キーワードを拾い、全体としての内容を数文の英語でまとめさせたりする活動』を取り入れる。
- 『書いた英文が相手に正しく伝わるかどうかについて、生徒自身が読み直して誤りを修正したり、ペアでチェックし合ったりして正確な英作文に書き直す活動』や『教科書における登場人物の設定を変更し、適切な表現や言い方に直して音読する活動』を取り入れる。

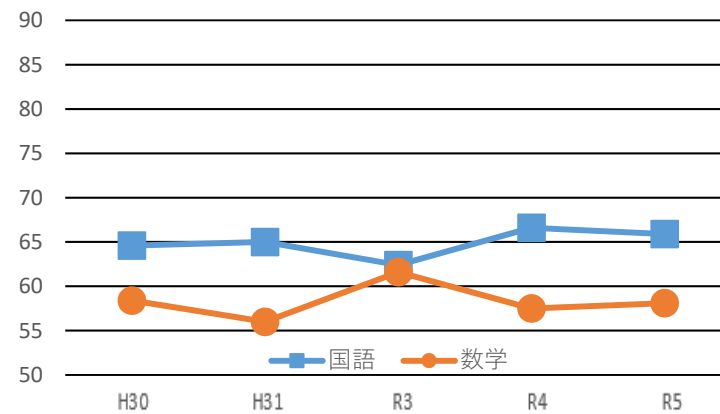
# 全国学調 中津市 質問紙調査結果の推移 「勉強が好き」 「授業が分かる」 【H30～R5】

か。教科の勉強は好きですか。  
 (肯定的回答割合)

## 小学校

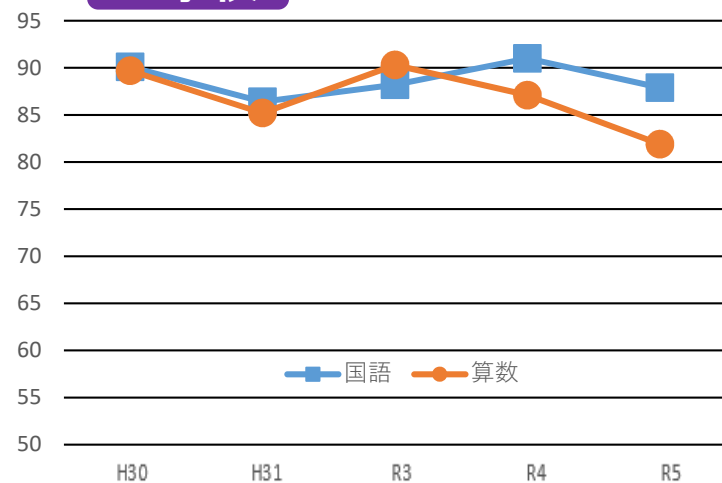


## 中学校

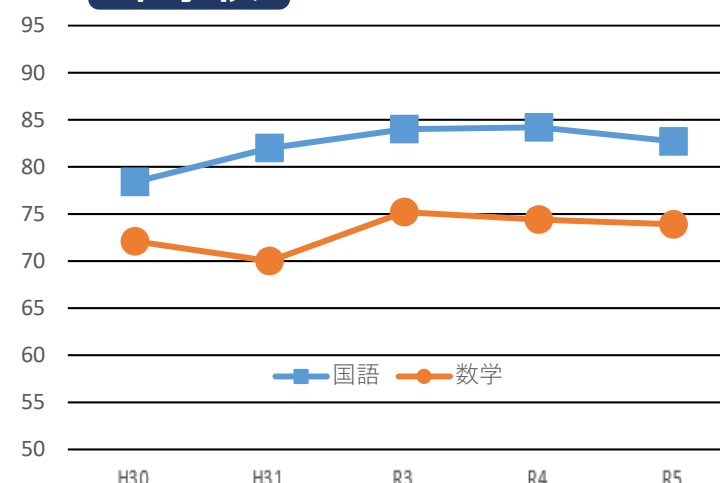


授業の内容はよくわかりますか。  
 (肯定的回答割合)

## 小学校



## 中学校



- 「教科の勉強は好きですか」の質問についての肯定的回答割合は、R4からR5にかけて、小の算数のみ減少、小の国語、中の国語・数学は昨年度とほぼ同程度。
- 「授業の内容はよくわかりますか」の質問についての肯定的回答割合は、R4からR5にかけて、小の国語・算数ともに減少、中の国語・数学は昨年度とほぼ同程度。

# R5全国学調 質問紙調査結果から見える児童生徒の現状

## 小学校

## 中学校

【肯定的な回答の割合】  
( )は昨年度比

①将来の夢や目標を持っていますか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差
81.5	80.4	79.3(+1.5)	-2.2	-1.1

全国	県	中津市	全国との差	県との差
66.3	64.8	60.9(-8.1)	-5.4	-3.9

②自分には、よいところがあると思う。(肯定的割合)

全国	県	中津市	全国との差	県との差
83.5	83.4	79.1(±0)	-4.4	-4.3

全国	県	中津市	全国との差	県との差
80.0	78.8	77.1(+2.5)	-2.9	-1.7

③学校に行くのは楽しいと思いますか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差
85.3	85.5	83.2(-3.1)	-2.1	-2.3

全国	県	中津市	全国との差	県との差
81.8	82.8	84.6(-3.7)	+2.8	+1.8

④学校の授業がある月から金の授業時間以外にどれくらいの時間勉強したか(塾、家庭教師、ネット活用学習を含む)。**【30分未満】**

全国	県	中津市	全国との差	県との差
16.0	12.8	21.1(+3.6)	+5.1	+8.3

全国	県	中津市	全国との差	県との差
15.9	7.9	11.7(+2.2)	-4.2	+3.8

⑤授業時間以外に平日、1日当たりどのくらい読書をするか(電子書籍含む。教科書・参考書・漫画・雑誌を除く)。**【全くしない】**

全国	県	中津市	全国との差	県との差
24.5	22.6	22.6(-6.5)	-1.9	±0

全国	県	中津市	全国との差	県との差
36.9	43.2	45.1(+2.9)	+8.2	+1.9

⑥今までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。**【週3回以上】**

全国	県	中津市	全国との差	県との差
62.4	59.7	64.7(-3.5)	+2.3	+5.0

全国	県	中津市	全国との差	県との差
61.1	63.5	83.9(+16.6)	+22.8	+20.4

⑦授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表したか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差
63.7	58.3	59.2(-2.8)	-4.5	-1.2

全国	県	中津市	全国との差	県との差
62.1	54.7	56.6(-2.3)	-5.5	+1.9

# R5全国学調 質問紙調査結果から見える児童生徒の現状

## 小学校

## 中学校

【肯定的な回答の割合】  
( )は昨年度比

⑧授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差	全国	県	中津市	全国との差	県との差
78.8	80.1	78.7(-4.2)	-0.1	-1.4	79.2	79.1	82.0(+0.6)	+2.8	+2.9

⑨授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差	全国	県	中津市	全国との差	県との差
74.4	74.8	74.2(-0.3)	-0.2	-0.6	69.1	70.6	74.8(-0.3)	+5.7	+4.2

⑩あなたの学級では、学級生活をよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差	全国	県	中津市	全国との差	県との差
77.2	77.9	72.5(-7.0)	-4.7	-5.4	77.9	78.7	83.2(+1.1)	+5.3	+4.5

⑪学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいるか。

全国	県	中津市	全国との差	県との差	全国	県	中津市	全国との差	県との差
75.7	84.2	77.8(+1.4)	+2.1	-6.4	71.6	74.7	79.0(+3.0)	+7.4	+4.3

⑫解答時間は十分でしたか（国語・算数数学の平均）。【やや足りなかった 全く足りなかった】

全国	県	中津市	全国との差	県との差	全国	県	中津市	全国との差	県との差
23.2	22.1	22.1(-5.0)	-1.1	±0	21.2	24.4	26.1(+4.1)	+4.9	+1.7

- ①② 「夢や目標」「自己肯定感」の項目では、肯定的な回答の割合が県・全国と比べて低い。
- ③ 「学校に行くのが楽しい」と回答した割合が県・全国と比べて、小学校は低く中学校は高い。
- ④ 「授業以外の勉強時間が30分未満」と回答した割合が、小・中学校ともに県より高い。
- ⑤ 中学校では読書をしない傾向が顕著である。
- ⑥ ICTの活用においては県・全国と比べて高く、中学校では顕著である。
- ⑦～⑨「授業」では、小・中ともに発表の工夫が全国と比べて低い。
- ⑩～⑪「学級集団作り」では、県・全国と比べて、小学校は低く、中学校は高い。
- ⑫ 「解答時間が足りなかった」と回答した割合が、小学校は県・全国と同程度だったが、中学校は県・全国より高い。



【肯定的な回答の割合】

	番号	質問事項	中津市	大分県	全国	県との差	全国との差
成果が見られる質問	(14)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	90.0	80.9	76.5	+9.1	+13.5
	(27)	調査対象学年の児童は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	95.0	86.6	79.0	+8.4	+16.0
	(56)	調査対象学年の児童が自分で調べる場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか 【ほぼ毎日】 【週3回以上】	85.0	72.0	70.0	+13.0	+15.0
	(57)	調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか 【ほぼ毎日】 【週3回以上】	70.0	52.2	45.8	+17.8	+24.2
	(59)	調査対象学年の児童同士がやりとりする場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか 【ほぼ毎日】 【週3回以上】	55.0	46.1	40.0	+8.9	+15.0
	(64-2)	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。 (2) 特別な支援を要する児童に対する学習活動等の支援 【ほぼ毎日】 【週3回以上】	75.0	55.0	50.0	+20.0	+25.0
	(69)	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	90.0	81.0	53.6	+9.0	+36.4
課題がみられる質問	(34)	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	85.0	92.7	89.0	-7.7	-4.0

【肯定的な回答の割合】

	番号	質問事項	中津市	大分県	全国	県との差	全国との差
成果が見られる質問	(14)	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	80.0	73.7	61.4	+6.3	+18.6
	(23)	生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	100	89.0	83.8	+11.0	+16.2
	(28)	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	100	93.2	88.8	+6.8	+11.2
	(65)	調査対象学年の生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか 【ほぼ毎日】 【週3回以上】	100	64.4	44.2	+35.6	+55.8
	(66)	教職員と調査対象学年の生徒がやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか 【ほぼ毎日】 【週3回以上】	80.0	65.3	48.7	+14.7	+31.3
課題がみられる質問	(50)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	80.0	94.9	96.1	-14.9	-16.1
	(53)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか	80.0	92.4	91.9	-12.4	-11.9
	(55)	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか	50.0	77.2	75.4	-27.2	-25.4

- 教員が授業で悩みを抱えている場合、ともに問題解決にあたる体制ができている学校の割合が高い。  
⇒今後も、教職員の悩みや困りに対して、組織的に対応していく体制を整える。
- 調べる場面、まとめ・発表・表現する場面や生徒がやりとりする場面などでタブレットを使用する割合が高い。  
⇒GIGA紹介シートなどを活用し、好事例の発信を続けていく。
- 小学校では指導法の工夫・改善、中学校では英語の授業改善に課題がある。  
⇒小学校では習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法を心がけ、中学校では英語の言語活動の充実に取り組む。

# 中津市 令和5年度全国学力・学習状況調査における今後の取り組み

## (1) 「つけるべき力」をつけるための授業改善を行うために

- ・ 学年部会、教科部会を活用し、全教職員で問題を解く時間を持ち、調査問題の分析からも「つけるべき力」を明らかにし、全職員で確認・共通理解する。
- ・ 分析によって明らかになった「つけるべき力」をつけるための授業改善であることを全職員で確認・共通理解する。
- ・ みんな活躍の手立て（キーワード、ぶらぶらタイム、グループ学び等）が「つけるべき力」の育成に有効であることを全職員で確認・共通理解する。

## (2) 「徹底」した補充学習、学び直しや家庭学習を「組織的」に行う

- ・ 各学校で分析に基づいた補充学習、学び直しや家庭学習に全職員で組織的に取り組む。
- ・ 分析を基にして、学び直し週間でAIドリルや県・全国調査問題を扱う。  
【小】 eライブラリ、Qubena(小6)で「知・技」の問題、MEXCBTで「思・判・表」の問題や全国調査問題に取り組みさせる。  
【中】 eライブラリ、Qubena(中1～2)で「知・技」の問題、MEXCBT、県データベースで「思・判・表」の問題や全国調査問題に取り組みさせる。

## (3) 「定着」のための取組を「計画的」に行う

- ・ 〈その日に学習した内容〉 〈少し前に学習した内容〉 〈かなり前に学習した内容〉を計画的に授業や補充学習、単元テストや定期考査に取り入れるなどして、「短期・中期・長期」を意識した「つけるべき力」を定着させる取組を行う。  
【小】 教科書や単元テスト(業者テスト)の「活用力問題」を疎かにせず、全児童に取り組みさせ、評価する。  
【中】 教科部会を活用し、定期考査の「活用力問題」の質・量を見直し、教科主任と管理職が組織的に確認する。